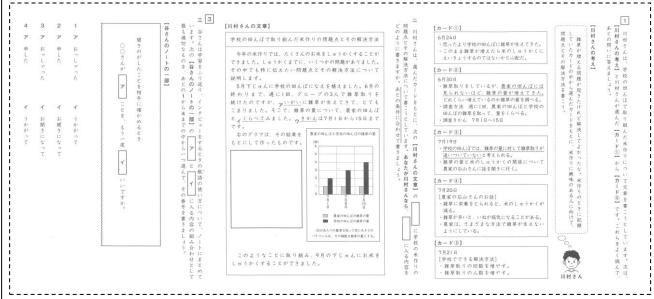
### 令和 5 年 4 月 18 日実施 全国学力・学習状況調査 【小学校 国語】 松山市の調査結果の概要

## 1 国語について

全国と松山市の調査結果を比較すると、平均正答率は、ほぼ同じ状況でした。

学習指導要領に示されている「知識及び理解」の領域は全国平均とほぼ同じ状況であり、「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域もほぼ同じ状況でした。

### 2 分析結果から特徴が見られた問題



# 1-=

# 正答例

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。 (100字)

全国の正答率 26.7%

松山市の正答率 全国の正答率とほぼ同じ

 $3-\Xi$ 

正答 1

全国の正答率 57.6%

松山市の正答率 全国の正答率とほぼ同じ

#### 3 考察

1一二は、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題です。ここでは、【河村さんの文章】のグラフと【カード④】のそれぞれから分かる学校の米作りの問題点と、【カード⑤】を基にした問題点の解決方法を指定の文字数で書くことが求められます。無解答率は全国平均を下回るものの、解決方法のみを記述し、その問題点についてグラフなどから読み取ることができなかったと考えられる児童の割合が全国平均よりも上回りました。

3 一三は、日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる問題です。尊敬語と謙譲語について理解していることが求められます。3の「お聞きになって」と解答した児童の割合が全国平均より高く、「言う」などの尊敬語である「おっしゃる」については理解しているが、「聞く」などの謙譲語である「うかがう」については理解していない児童が多いと考えられます。

# 4 これからの学習にあたって

自分の考えが伝わるように文章を書くには、図表やグラフなどを用いるなどして書き表し方を工夫することが 大切です。観察や実験、調査の結果などを記述する際には、図表やグラフを用いることで、自分の考えを深める とともに、相手にとってよく理解できるものになります。

敬語を使う場合は、尊敬語や謙譲語などの役割や必要性を自覚し、相手と自分との関係を意識しながら、相手 や場面に応じて適切に使うことが大切です。